

令和7年度 符津小学校 学校研究全体計画

1. 研究概要

研究主題 **主体的な学びを生み出す算数の授業づくり**

～数学的な見方・考え方をはたらかせながら 考える 伝え合う わかる「楽しさ」を味わう～

(1) 主題設定の理由

本校では、昨年より、「小松市授業力向上研究事業（小学校算数科）」の指定を受け、「主体的な学びを生み出す算数の授業づくり」を研究主題とし、学校研究に取り組んできた。子どもが主体的に学び続けるためには、子ども自身が学びの楽しさや自己の成長を実感することが大切である。そこで、昨年度は、「系統性のある数学的な見方・考え方を意識した単元構想と授業展開の工夫」と「問いを生み出す4つのズレを意識した授業づくり」を重点として掲げ、「授業がかわれば、子どもがかわる！」を合言葉に、授業改善を行ってきた。

その結果、本時（本単元）において必要な数学的な見方・考え方をイメージした授業展開を意識したり、授業を構想する際には、学習指導要領ならびに「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料はもちろん、採択教科書だけでなく、他社の教科書や書籍等にも目を向けながら検討する姿が見られたりするようになった。「問いを生み出す4つのズレを意識した授業づくり」では、関西大学初等部の尾崎正彦氏の書籍や模擬授業等を通して、少しずつイメージの共有が進み、子どもの思考に沿った課題提示を意識したものへと変容が見られた。また、2つの重点を意識する上で欠かせないのが教材研究であるが、学年でのつながりに加え、経験年数の異なる教員同士のペアで教材研究を行ったり互いの授業を参観したりする機会を設けたことで、教員の意識も向上してきた。

一方で、本時（本単元）における数学的な見方・考え方を明確にした授業を構想することには、かなりの力量が必要であることが分かった。学習指導要領に書かれているような抽象的な表現ではなく、数学的な見方・考え方を働かせた具体的な子どもの姿をイメージし、我々教師自身の中に落とし込むための手立てとして、既習や他学年とのつながり等を意識したり、教員同士がつながる仕組みを構築したりしていきたい。また、課題提示のみの工夫や表面的なズレ等、ズレの質にも課題が見られた。そこで、見方・考え方につながる本質に迫ったズレを意識したり問いが連続するような授業のストーリーを構想したりしていきたい。そして、子どもが「自分の考えが深まった！」「みんなで授業をつくり上げた！」という成就感が持てるような授業の実現をさらに目指していきたい。

以上のことから、今年度も昨年度に引き続き、研究主題を「主体的な学びを生み出す算数の授業づくり～数学的な見方・考え方をはたらかせながら 考える 伝え合う わかる「楽しさ」を味わう～」とし、算数科の授業改善から主体的に学ぶ子の育成を目指した研究に取り組むこととする。

(2) 研究構想図

〈学校教育目標〉 自ら考え 仲間とともに よりよい未来を創り出そうとする子の育成

〈令和7年度の重点〉

目指す児童の姿

子どもも教師も学びの楽しさの実感

- 主体的に学びを楽しむ子
- 目標に向かって自己調整して学べる子
- あきらめずに挑戦する子
- 自分や他者の良さを尊重できる子

〈研究主題〉

主体的な学びを生み出す算数の授業づくり

～数学的な見方・考え方をはたらかせながら 考える 伝え合う わかる「楽しさ」を味わう～

算数の授業づくり

【めざす子どもの姿】

自ら問題を解決しようとする姿・必要感をもって考えを伝え合う姿・算数の楽しさを感じ成長を自覚する姿

【系統性のある数学的な見方・考え方を意識した授業・単元構想の工夫】

- ・数学的な見方・考え方を意識した単元構想, 授業展開の工夫
- ・授業構想シートの作成
- ・数学的な見方・考え方をはたらかせている児童の姿の明確化

【子どもが学び続けるための手立て】

◎問いを生み出す手立て

- ・4つのズレ^{※1}を意識した授業づくり
 - ・必要感のある伝え合いの場づくり
 - ・教師の関わり(つなげる・問い返す・ゆさぶる・深める)
 - 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - ICTの効果的な活用
- ※1 次ページ参照

授業がかわれば，子どもがかわる！

学びを支える学習の基盤

＜教務部＞

- ・授業規律の徹底
- ・主体的な学びにつながる自学ノートの掲示

＜生徒指導部＞

- ・生徒指導の4つの視点を大切にした学級・集団づくり
- ・生活規律の徹底

＜共通実践＞

- ・基礎的基本的な学習内容の習得(スキルタイム計算, 形成的プリント等)
- ・子どもたちを見取るための手立て(活用テスト, 算数教材の丸付け等)
- ・声のもののさしを意識した授業

学習環境の充実

- ・算数掲示委員会を中心とした取り組み
- ・数学的な見方・考え方を意識した掲示物
- ・主体的な学びにつながる自学ノートの掲示

(3) めざす子どもの姿

- ①自ら問題を解決しようとする姿
- ②必要感をもって考えを伝え合う姿
- ③算数の楽しさを感じ、成長を自覚する姿

(4) めざす子どもの姿を実現するための研究の柱

主体的な学びを生み出す算数の授業づくり (◎…重点)

<◎系統性のある数学的な見方・考え方を意識した授業・単元構想の工夫>

本時における数学的な見方・考え方を明示し、それが考える軸として貫く授業展開を目指す。その実現に向け、どんな問いの連続があるか、授業を深めるための仕掛けや見どころ・工夫については考え、授業構想シートに表す。

<子供が学び続けるための手立て>

◎問いを生み出す手立て

- ・4つのズレ※¹を意識した授業づくり

子どもに問い（ズレ）が生まれる授業展開を工夫する

- ・友だちとの考えのズレ…自分の考えや予想が、友だちの考えや予想と異なるとき
- ・予想とのズレ …自分の予想とは異なる結果に出会ったとき
- ・感覚とのズレ …子どもが本来もっている数学的な感覚とは異なる事象に出会ったとき
- ・既習とのズレ …既習の学習内容から少しだけ発展した課題に出会ったとき

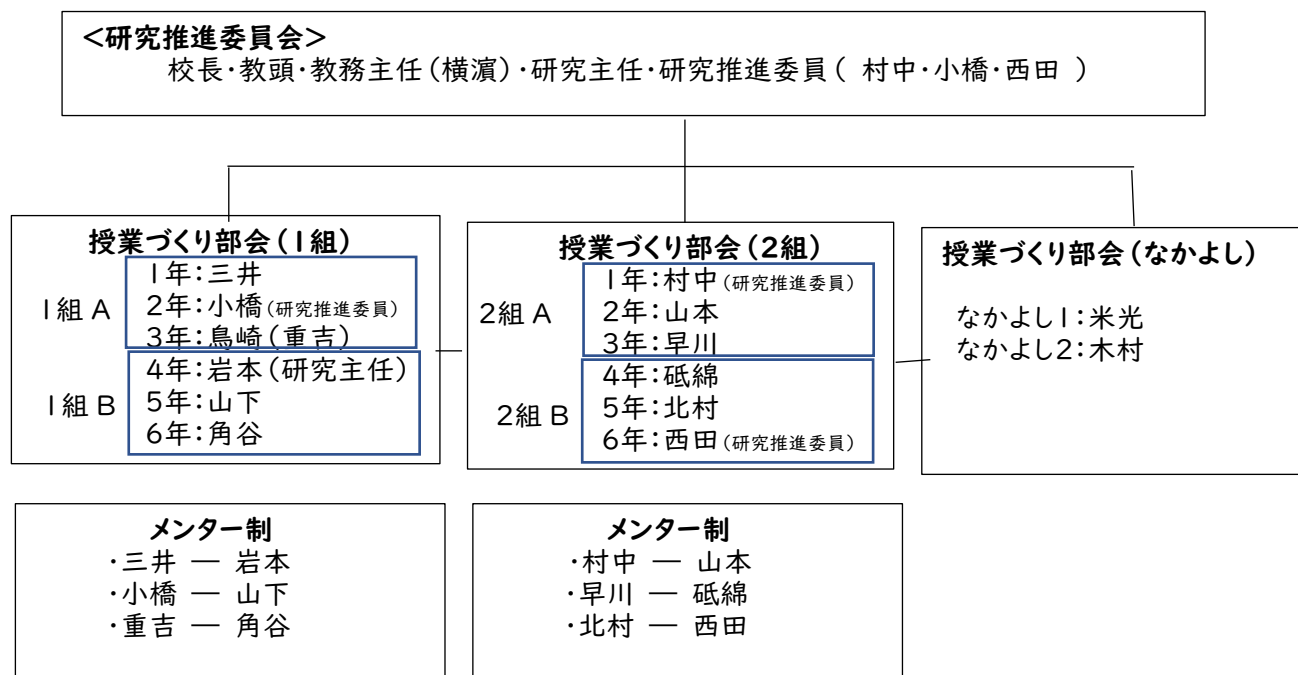
「算数の学校ができるまでふつうの学校が挑んだ授業改革」尾崎正彦 編著・第2 向陽小学校 執筆、東洋館出版社 2022 年」

- ・必要感のある伝え合いの場づくり
- ・教師の関わり（つなげる・問い返す・ゆさぶる・深める）

○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

○ICT の効果的な活用

(5) 研究組織について



※ 各学年の横のつながりをベースに、上記の組織体制で行う。

※ 全体研の場合、なかよしの先生も各組の授業づくり部会に参加する。

(6) 年間計画

月	日	研究全体会等	授業づくり部 A	授業づくり部 B	その他
4	4	・今年度研究の共通理解 ・年間計画の確認 ・部会（担当確認，計画）			
	11	・5月23日に向けてのアイディア交流			
	28	・提案授業（4-1 岩本）			
5		・各 AB 部会指導案検討			
	22	・校内研修会（計画訪問全体研アイディア交流会）			
	23	・校内研修会（尾崎先生来校，3-1 鳥崎・6-1 角谷・3-2 早川・5-2 北村 4 クラス授業公開，入り込み授業）			
	28	・校内研修会（計画訪問全体研模擬授業）			
6	18	・計画訪問全体研（5-1）			
7		・校内研修会（公開研究発表会アイディア交流会）			
8	6	・校内研修会（尾崎先生来校） ・校内研修会（公開研究発表会指導案検討）			
9					
10					
11	4	・公開研究発表会（2-2・6-2）			
12					
1		・今年度のふり返し，研究のまとめ			
2		・今年度の総括及び次年度の方向性について			
3		・次年度研究構想			